

第1回総合都市交通計画研修

主催：(財)計量計画研究所 後援：国土交通省

日時：2004年10月27・28日

場所：浜離宮朝日ホール・小ホール

1. はじめに

わが国の主要な都市圏では、1970年代以降、パーソントリップ調査と総合都市交通計画の策定が継続的に行われ、都市交通環境の改善と透明性の高い都市交通行政の推進に大きく寄与してきたところです。一方、調査の実施や、計画策定には、さまざまな特有の技術を用いることから、担当する行政職員の方々に、その内容を十分に理解してもらうことが重要になります。

このため、この度当財団では、都市交通を担当する行政職員の方々を対象に、第1回の「総合都市交通計画研修」を開催いたしました。

2. 研修内容

研修は、東京都内の会場において、2日間の日程で行いました。プログラムは、別掲の通りです。まず、総合都市交通体系調査の概要と意義について、後援をいただいている国土交通省都市・地域整備局都市計画課都市交通調査室の笠原室長から講習していただきました。この後、総合都市交通体系調査の実施手順にしたがって、調査企画・準備から、計画立案、その後のフォローアップにいたる過程を7つに分けて、それぞれ、計量計画研究所の研究員が講師を勤めて講習しました。これに加えて、仙台都市圏で調査・計画に携わった岩崎裕直氏（現仙台市都市整備局総合交通対策部東西線対策室長）を講師にお招きし、仙台都市圏の取組みについて「仙台都市圏PT調査の成果とその活用」と題して、ご講演いただきました。また、黒川理事長より「今後のまちづくりと交通体系のあり方」と題する講演をいたしました。最後に、総括質疑の時間を設けて、講習への質問に対して回答をしています。

参加者は、都市交通計画に関係する地方整備局、都道府県、市町村の職員の方々ですが、合計100名の参加をいただきました。

表 研修プログラム

【1日目】：10月27日(木)

講習1：総合都市交通体系調査の概要と意義

講習2：調査企画・準備

講習3：実態調査

講習4：現況分析

講習5：都市交通マスタープランの計画立案

講演「今後のまちづくりと交通体系のあり方」

【2日目】：10月28日(金)

講習6：予測手法

講習7：個別計画・施策提案

講習8：成果の実現化、データ活用

事例紹介1：仙台都市圏PTの成果とその活用

事例紹介2：施策・計画の具体化事例

*詳しくはホームページをご覧ください。

3. 今後に向けて

今後の研修の改善に役立てようと参加者の皆さんに、アンケート調査をお願いしました。この結果によると、全体の9割以上の方から、有益であった・まあ有益であったという評価をいただいた一方、説明やスライドにわかりにくいところがあった、もっと時間を十分にとってほしいに説明して欲しい、などの要望もいただいています。

効果的で透明性のある都市交通行政への期待は高まっており、その推進に寄与するパーソントリップ調査と総合都市交通計画も一層重要になってきています。次年度以降も、参加者の皆さんのご意見を踏まえて内容の充実を図った上で、継続的に研修を実施してまいりますので、是非、多くの方々にご参加いただきますようお願い致します。

(交通政策研究室 中野 敦)